

日時 2018 年 6 月 21 日 (木) 午後 6 時～8 時

場所 文京区区民センター 3F・B 会議室

出席 11 名

「清水寺参詣曼荼羅で読み解く三年坂の謎」

担当：松本崇男

- 1、全国の三年坂（東京都 23 区 7 坂、座間市・熊本市に各 2 坂、八王子市、沼田市、甲府市、京都市、亀山市、和歌山市、高野山町に各 1 坂）全 18 坂を比較検討。
 - 1a、三年坂に共通した坂名の特徴
三年坂で転ぶと三年のうちに死ぬとの言い伝えがある。
三年坂は、寺や墓地に隣接している。
三年坂には、別名として三念坂・産寧坂と呼ばれる坂が複数ある。隠れた意味がある？
 - 1b、三年坂は、江戸時代に命名された坂が多いが、京都市東山区清水の三年坂は、最古の三年坂で大同三年（808）に開かれたとの言い伝えがある。（そこで、京都の三年坂が他の地域の三年坂の名称ルーツである可能性を検討する。
- 2、京都の三年坂について検討
 - 2a、「清水寺参詣曼荼羅」から清水参詣道を読み解く
「清水寺参詣曼荼羅」は 16 世紀半ば～後半に描かれた曼荼羅図で、応仁・文明の乱で焼失後に再建された清水寺と清水寺参詣道の姿を描いている。
 - 2b、清水寺参詣道に描かれた事物を詳細にみていくと、描かれた寺、地名、人物には鳥辺野墓地と深い係わりがあることがわかる。同じ頃に描かれた「八坂法観寺塔曼荼羅」に描かれた「三年坂」「鳥辺野」と比較すると「清水寺参詣曼荼羅」は三年坂、鳥辺野を意図的に避けているようだ。さらに応仁の乱の時代の鳥辺野葬地を考える。
 - 2c、さらに時代をさかのぼり、京都の三年坂が開かれた大同三年（808）に京都に何があったかについて考える。この年、京都には疫病が流行し病死者多く三年坂周辺の鳥辺野に死骸が運ばれた。「三年坂で転ぶと三年のうちに死ぬ」との伝承はこの事に始まった。
- 3、三年坂が各地に広がった理由と清水寺再建のための勧進の関係
 - 3a、清水寺再建のために願阿弥と勧進聖らによって勧進活動が行われた。
 - 3b、「清水寺参詣曼荼羅」には、勧進の様子が描かれている。
 - 3c、寛永六年（1629）火災により清水寺の堂塔伽藍が焼失。徳川三代将軍家光により寛永十年（1633）再建された。具体的資料に欠けるが清水寺の勧進が各地で行われ、このことによって各地に三年坂の名が広がった可能性、あるいは江戸時代に刊行された京都の地誌に記された三年坂記事が各地に三年坂を広げたことなどが考えられる。